

戦後学生運動の足跡 第二部 安保全学連の形成と崩壊 (七)

一九五九年

安保か反合か

— ブンドと革共同の対立 —

安保問題の激化に伴って、学生運動の中心は、安保反対運動から、安保賛成運動へと移行した。この移行は、学生運動の歴史上、最も重要な転機の一つである。この移行は、学生運動の内部に、安保賛成派と安保反対派との対立を生じ、この対立は、学生運動の分裂を招いた。この分裂は、学生運動の力を弱め、学生運動の中心から、安保賛成派と安保反対派の対立へと移行した。この移行は、学生運動の歴史上、最も重要な転機の一つである。

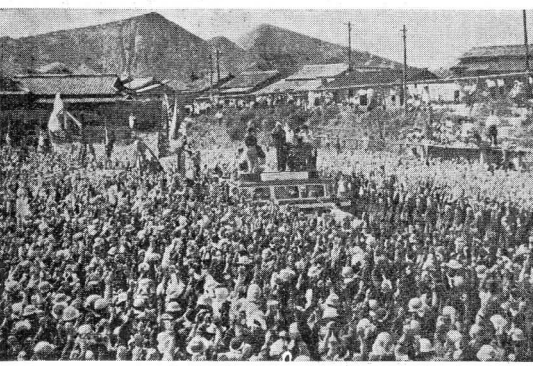
社共既成指導部に

よる国民会議結成

社共既成指導部は、国民会議の結成を、学生運動の中心から、安保賛成派と安保反対派の対立へと移行した。この移行は、学生運動の力を弱め、学生運動の中心から、安保賛成派と安保反対派の対立へと移行した。この移行は、学生運動の歴史上、最も重要な転機の一つである。

党派斗争の深化はブンドに 党内フラクから新しい前衛 への転換を迫った

党派斗争の深化は、ブンドに党内フラクから新しい前衛への転換を迫った。この転換は、学生運動の中心から、安保賛成派と安保反対派の対立へと移行した。この移行は、学生運動の力を弱め、学生運動の中心から、安保賛成派と安保反対派の対立へと移行した。この移行は、学生運動の歴史上、最も重要な転機の一つである。



<写真説明> 国鉄赤免館反合理化闘争 (6月5日)

第十四回全学連大会

前衛党の裏切りか 神聖なる前衛党か

第十四回全学連大会は、前衛党の裏切りか、神聖なる前衛党かというテーマで開かれた。この大会は、学生運動の中心から、安保賛成派と安保反対派の対立へと移行した。この移行は、学生運動の力を弱め、学生運動の中心から、安保賛成派と安保反対派の対立へと移行した。この移行は、学生運動の歴史上、最も重要な転機の一つである。



宿命の岸改造内閣発足 (6月18日)

原水禁大会に露呈した既成指導部の腐敗

原水禁大会に露呈した既成指導部の腐敗。この腐敗は、学生運動の中心から、安保賛成派と安保反対派の対立へと移行した。この移行は、学生運動の力を弱め、学生運動の中心から、安保賛成派と安保反対派の対立へと移行した。この移行は、学生運動の歴史上、最も重要な転機の一つである。

原水禁大会に露呈した既成指導部の腐敗。この腐敗は、学生運動の中心から、安保賛成派と安保反対派の対立へと移行した。この移行は、学生運動の力を弱め、学生運動の中心から、安保賛成派と安保反対派の対立へと移行した。この移行は、学生運動の歴史上、最も重要な転機の一つである。

「天皇制連続講座」

主催：明治学院大学経済学会

- 10月4日(月) 「三里塚農民と天皇」 戸村 一作 映画「三里塚第二砦の人々」
- 5日(火) 「天皇制と日本革命」 神山 茂夫
- 7日(木) 「天皇制とファシズム」 浅田光輝(立正大教授、破防法裁判を支える会)
- 11日(月) 「先行性ファシズム論」 さらぎ徳二(共産同議長)
- 「天皇制ポナバルティズム論」 本多 延嘉(革共同書記長)
- 14日(木) 「天皇制とキリスト者」 桑原 重夫(自立的牧師連合)
- 15日(金) 「天皇制と民族問題」 山辺健太郎
- 18日(月) 「天皇制と沖縄」 古波津英興(沖縄教授センター)
- 下旬(未定) 「天皇・部落・婦人」 もろさわようこ

とき 午後七時
ところ 明治学院大学

天皇制連続講座の開催スケジュールと内容に関する詳細な説明。この講座は、天皇制の歴史と現状について、専門家の講演や映画鑑賞を通じて学ぶ機会を提供する。開催場所は明治学院大学であり、参加費は無料である。